

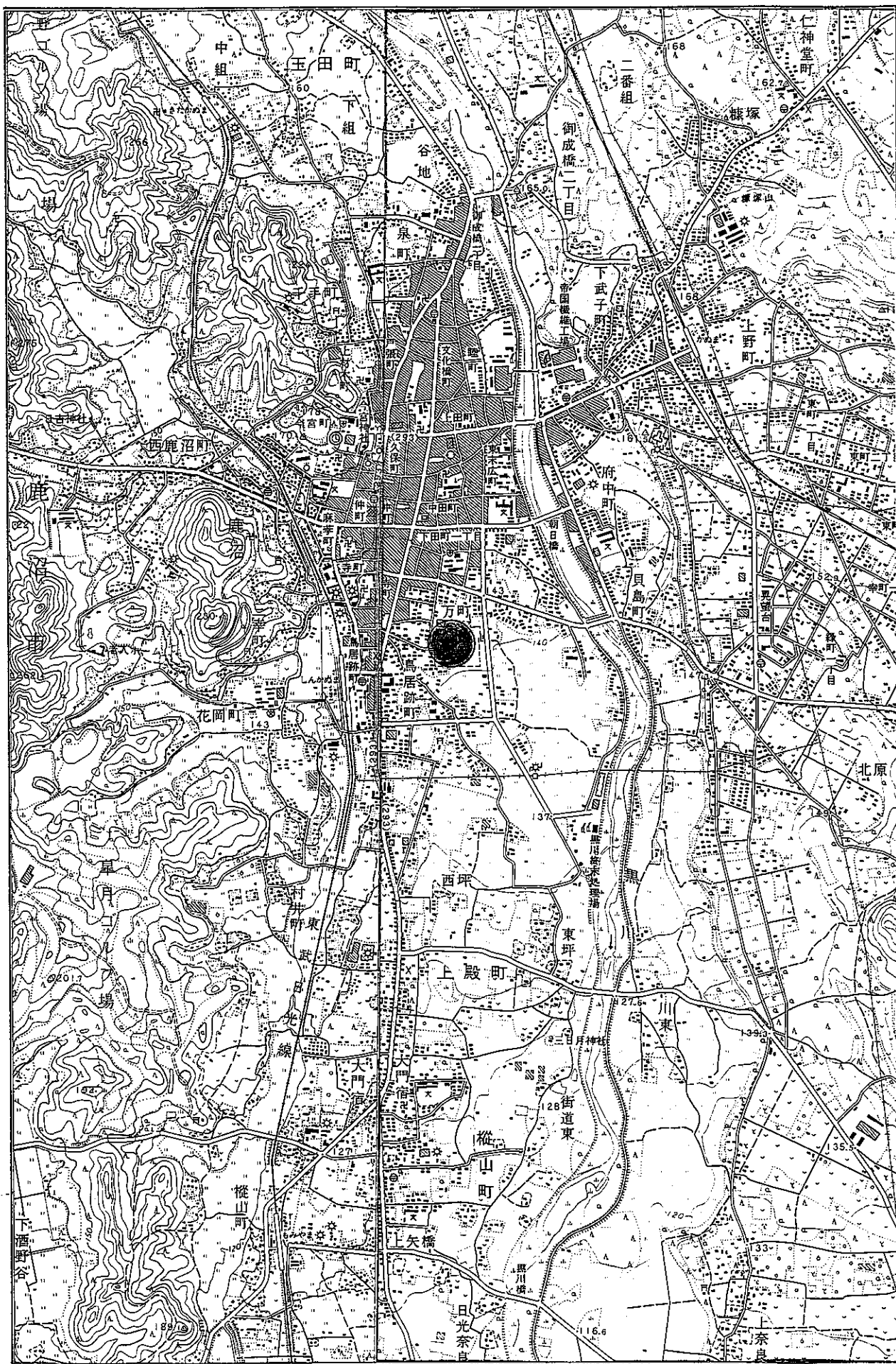
## ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

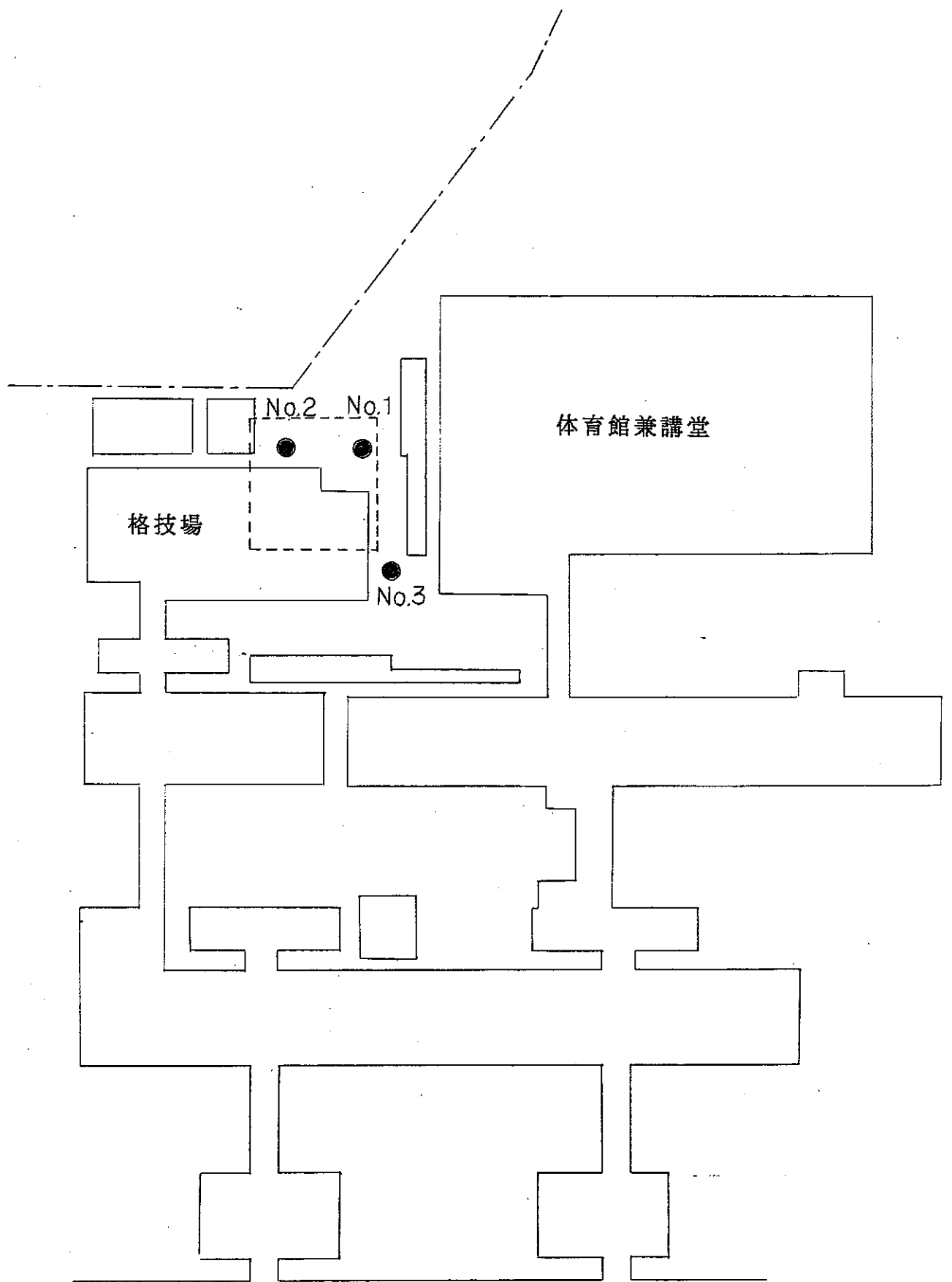
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課



1 : 25000

案内図



平面図

縮尺 1 : 5 0 0

ボーリング番号		鹿ノ		備考										
調査名		鹿沼高牧柔剣道場新築工事地質調査												
調査場所		鹿沼市万町												
調査年月日		昭和59年6月10日 ~ 昭和59年6月10日		U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取										
標高		99.91m												
ボーリング工法		ローリ-式												
標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	相対密度および	貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数	標準貫入試験	尺 (m)
99.31	0.60	1.20	0.60		X	益工	暗灰色	砕石工割下塊、不片 層が混入する。 砂~小礫が混入する。		1.15	13	5 4 4		0
99.01	0.90		0.30		○	砂礫	褐灰色	φ30~50mmの礫が主体 0.9~3.0mmの砂 分が多い。 30mmの礫が多数 φ100%程度の玉石が 混入している。	中密	2.15	22	5 7 10		10
			3.80		○	粘土混り 砂礫	褐灰色	4.0mm~1.6mm間は較石 φ10~15mmのIT採取	非常な 密な	4.00	47	12 16 19		20
95.21	4.70		1.75		○					5.15	38	10 14 14		30
93.46	6.45				○					6.15	45	13 11 21		40
										4.5	45			50

No. 1 孔

ボーリング番号		備 考												
調査名		鹿沼高校柔剣道場新築工事現地調査												
調査場所		鹿沼市万町												
調査年月日		昭和 59年 6月 5日 ~ 昭和 59年 6月 7日												
標高		基準 仮BM(100.00m)												
ボーリング工法		ローリー式												
標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色 調	記 事	相対密度および	貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数	標準貫入試験	尺 (m)
99.55	0.30		0.30			益工	暗褐色	砕石、工片多量混入		1.15	2	1		0
		1.40	1.40			シルト	暗褐色 暗茶褐色	上部は木片、砕石混入 中下部は有機物混入	非常に やわらかい	4.7	32	1 / 20 / 12		1
98.15	1.70		3.10			砂 礫	褐色	φ30~50%の礫が主体 所々φ40~100%の程度 の玉石が混入。 全体に礫分が多い。 礫は硬質である。		2.15	20	10 / 6 / 4		2
95.05	4.80		2.65			粘土混り 砂 礫	褐色	φ20~30%の礫が主体 体は礫が風化し、 粘土分が多い。 6.4mm以下層は55cm 程度の粘土を挟む。	非常に 密な	5.15	50	23 / 27 / 9		3
92.40	7.45									7.15	49	15 / 18 / 16		4

No. 2 孔

ボーリング番号 63										備考									
調査名 鹿沼高校柔剣道場新築工事地質調査										U.....不攪乱試料採取 D.....攪乱試料採取									
調査場所 鹿沼市小田																			
調査年月日 昭和59年6月8日 ~ 昭和59年6月9日																			
標高 99.90m										基準 仮BM(100.00m)									
ボーリング工法 ロ-タリ-式										現場技術者									
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記号	相対密度および	貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数	貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数	貫入深度 (m)	N値	10cm毎の打撃回数
0	99.50	0.40		0.40			粘土	暗灰色	砕石、石膏塊が混入。 0.2~1.0mは重灰色 1.0m以上の少量の砕石が混入。	非常に低い	1.15	24	7	8	9				
1	98.40	1.50	1.95	1.10			シルト	暗褐色			2.15	50	23	27	6				
2				4.10			砂	褐色	φ30~50%の礫が主体で、所々φ100%程度の礫が混入。礫は硬質である。崩壊・漏水が激しい。	非常に密な	3.00	50	27	6					
3							砂				4.15	37	10	16	11				
4							砂				5.15	50	18	22	10				
5	94.30	5.60		1.64			粘土(混) 砂	褐色	φ20~30%の礫が主体で、礫は円化して、6m付近に粘土が多量に...	中程度の	6.15	28	7	12	9				
6	92.66	7.24								非常に密な	7.15	50	9	9					

No. 3 孔